

保育所の自己評価

令和 2 年度

ゆうゆうくじら第2保育園
氏名 園長 枝 弘子

〈評価について〉

評価をするにあたっては、以下のような基準で行なっています

A—理想的な状況にある状態

B—通常行われている状態

C—一部改善・あるべき姿に到達していない状態

I 保育理念

1. 子どもの最善の利益の考慮

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)子どもの人権の尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりを大切にする保育を行っている。	A	(2)については、掲示しているが今後、会議、ミーティングなどしっかり周知してもらい、保育につなげていくようにする。
(2)保育方針・保育目標	保育理念・指針・保育目標について理解し作成している。	B	

II 子どもの発達援助

2-1. 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)健康・安全で心地よい生活	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がされている。	A	(2)子どもの主体的な遊びが難しい。自由遊びの際などは子ども達が自分達で考え、遊びと展開している
(2)子どもの主体的な生活	子どもの主体的な遊びを尊重している。	B	が今後行事においても子ども達の意見を取り入れたい
(3)人との関わりを育む環境	遊びや生活を通して、子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮している。	A	

2-2. 生活と発達の連続性

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)子ども観・発達観の理解と共有	保育指針や理念を理解し、子どもを愛護しながら育むことを共有している。	B	理念を周知させ、皆で職員会議、ミーティングで確認し合う。一人ひとりの子どもの発達に寄り添い保育を実践している。
(2)発達過程に応じた保育	発達過程を踏まえ、保育過程を作成し、保育している。	A	
(3)個人差への配慮	一人ひとりの子どもの発達に配慮している。プライバシーへの配慮がされている。	A	
(4)生活への連続性	長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	A	

2-3. 養護と教育の一体的展開

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)乳児保育	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	A	0~5歳児、心身の成長がつながりよく保育している。0~2歳児は基本的生活習慣の確立、3~5歳児は社会の中の一員となり、友達との人間関係でたくさん学ぶ。
(2)1・2才児の保育	1.2才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	A	
(3)3・4・5才児の保育	3. 4. 5才児の保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	A	
(4)小学校との連携	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮している。	A	

2-4. 環境を通して行う保育

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)保育の環境 ・人的環境・物的環境 ・空間・自然や社会現象	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A	自然豊かな環境の中で朝は0~5歳児の異年令児の子と自由遊び、そして夕方も各部屋で好きな遊びを選択できるよう工夫している。
	子どもが基本的に生活習慣を身につけ、積極的に活動ができるような環境が整備されている。	A	
	子どもが自発的に活動できる環境が整備され、身近な自然や社会とかかわるような取り組みがされている。	A	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	A	
(2)環境の構成・再構成	快適な環境に整備や空間を使っての工夫している。	A	

III 保護者に対する支援

3-1. 家庭との緊密な連携

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)子どもの成長の喜びを共有	子どもの様子について日々、保護者に伝えるなど情報を共有し、成長を喜び合い、共有できる機会を設けている。	A	申し送りにて活用し、保護者に伝えられないようになっている。毎年4月にて懇談会と行って質疑応答の時間を設けている。
(2)保育内容等の説明 ・応答責任	入所時、懇談会、保育参加等の機会をとらえ、説明・応答する機会を設けている。	A	
(3)子育てに関する相談 ・援助	相談・苦情・意見などは、随時所長・副所長が窓口となり対応している。	A	
(4)保護者への個別支援	一人ひとりの保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援している。	A	苦情についてはHPに掲載。

3-2. 地域における子育て支援

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)保育所機能の開放	公開保育や電話相談、交流保育など子育て支援のための取り組みを行っている。	B	入所希望の方への公開保育の実施。進学先の小学校近隣の保育所との交流、児童保育要録に基づいた意見交換を実施。
(2)関係機関との連携	保育所として必要な社会資源を明確にし、地域の関係機関との連携が適切に行われている。	B	
(3)情報提供	保育所が有する機能を地域の子育て支援に関する情報提供をしている。	B	

IV 保育を支える組織的基盤

4-1. 健康及び安全の実施体制

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)健康の保持及び増進	全職員が健康及び安全に関する共通理解を深め、適切な分担と協力の下に年間を通じて取り組んでいる。	A	職員は毎年1回、健康診断を行ない、有休もとっている。
(2)安全・衛生管理	安全管理のマニュアルがあり、緊急時に備えた安全対策が実施されている。	A	施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている。
	施設の環境を常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている。	A	
(3)家庭や保健・医療機関等との連携	安全対策のために職員への共通理解、体制作りを図るとともに家庭や諸機関との連携をとっている。	A	

4-2. 職員の資質向上

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)保育の計画	保育課程・年間計画に基づき、月間計画・週案・日案及び個人の計画を行っている。	A	
(2)保育士等の自己評価	保育計画に添い自らの実践と、子どもの育ちを振り返り、自己評価を行い、保育の改善を図っている。	B	職員の自己評価は年2回実施しているが、保育計画の自己評価は行なっていなかった。今後は毎年9月に自己評価を行うように予定を入れます。
(3)保育所の自己評価	自己評価表に基づき、行っている。	C	
(4)研修	外部研修・園内研修など職員に応じた研修を行い、資質の向上に努めている。	A	

4-3. 運営・管理、社会的責任

項目	内容	評価	意見・改善策
(1)法令等の遵守	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	個人情報については、保護者、職員全てから押印してもらい、しっかりと保管している。園長として役割を果たし、より多く理解し、貢献できるよう努力したい。
(2)個人情報の取扱と苦情解決の責任	個人情報の取り扱いは誓約書で確認し、苦情・意見などは隨時所長・副所長が窓口となり解決に向けて対応している。	A	
(3)施設長の責務	自らの役割と責任を明確にし、理解を図っている。	B	